セキュリティチェックシート（総務省 情報開示指針版）

本チェックシートは株式会社 World Wide System が提供する「結果通知システム」について、安全・信頼性に係る情報を記載したものです。また、本チェックシートの項目は、総務省の「クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示指針」を基に策定しています。本チェックシートは、改善のために予告なく変更することがあります。

プロダクトブランド	AdminDX シリーズ
プロダクト名	結果通知システム
バージョン	Ver2.0.0
データセンター	外部データセンターのハウジングサービスを利用

１.情報開示

情報開示項目			内容	事業者回答
1	情報開示の時点	情報開示の日付	情報開示の年月日（西暦）	２０２２年４月１日

２.サービス基本特性

情報開示項目			内容	事業者回答
2	サービス内容	サービス名称	本サービス名称	結果通知システム
3		サービス開始時期	本サービス開始年月日（西暦）	２０１６年７月３日
4		サービスの内容・範囲	本サービスの内容・特徴	サービス一覧 https://result.admindx.jp/
5			他の事業者との間で行っているサービス連携の有無と、「有り」の場合はその内容	無し
6		サービス提供時間	サービスの提供時間帯	24 時間 365 日（計画停止／定期保守を除く）
7		サービスのカスタマイズ範囲	サービスのカスタマイズの範囲（契約内容に依存する場合はその旨記述）	設定画面より利用画面上の一部の項目配置変更、新規項目の追加が可能です。

8	サービス内容	移行支援	本サービスを利用する際における既存システムからの移行支援の有無（契約内容に依存する場合はその旨記述）	無し
9	サービスの変更・終了	サービス（事業）変更・終了時等の事前告知	利用者への告知時期	当社ウェブサイト上に公開している利用規約（第１７条　サービスの廃止 https://ww-system.com/data/terms/pdf/terms.pdf ）において、サービスの提供終了について定めております。
１０			告知方法	メール、Web サイト、サービス内でお客様に告知します。
１１		サービス（事業）変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、「有り」の場合はその概要	有り サービス終了前に、お客様自身が一部のデータを CSV ファイル等でエクスポート可能
１２	契約の終了等	情報の返却・削除・廃棄	契約終了時等の情報資産（利用者データ等）の返却責任の有無と、受託情報の返還方法・ファイル形式・費用等	無し
１３			情報の削除又は廃棄方法の開示の可否と、可能な場合の条件等	不可 サービス解約時にデータを削除します。データはサーバサイドで抹消されているため、復旧は不可能です。
１４			削除又は廃棄したことの証明書等の提供	サービスとしては提供していません。別途、契約者からの申込みにてデータ消去証明書の発行が可能です。

１５	サービス料金	料金体系	初期費用額	有料
１６			利用額	料金 https://result.admindx.jp/
１７			最低利用契約期間	１２ヶ月
１８		解約時違約金支払いの有無	解約時違約金（利用者側）の有無と、「有り」の場合はその額	無し
１９		利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、「有り」の場合はその期限（何日・何ヶ月前かを記述）	当社ウェブサイト上に公開している利用規約（第１１条 利用期間 https://ww-system.com/data/terms/pdf/smartpr_terms.pdf ）において、サービスの解約期限について定めております。
２０	サービス品質	サービス稼働設定値	サービス稼働率の目標値	９９．９０%
２１		サービスパフォーマンスの管理	システムリソース不足等による応答速度の低下の検知の有無と、「有り」の場合は、検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法	弊社では各種リソースのモニタリングの実施、および定期的に増強計画の見直しを行っております。
２２			ネットワーク・機器等の増強判断基準又は計画の有無、「有り」の場合は増強の技術的措置（負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等）の概要	同上
２３		認証取得・監査実施	プライバシーマーク（JIS Q 15001）等、ISMS（JIS Q27001 等）、ITSMS（JIS Q 20000-1 等）の取得	プライバシーマーク取得を取得しています。（登録番号：第１７００１４０５号）
２４		脆弱性診断	脆弱性診断の有無と、「有り」の場合は、診断の対象（アプリケーション、OS、ハードウェア等）と、対策の概要	有り 脆弱性監査結果 https://result.admindx.jp/

２５	サービス品質	バックアップ対策	利用者データのバックアップ実施インターバル	日次
２６			世代バックアップ（何世代前までかを記述）	１世代
２７		サービス継続	サービスが停止しない仕組み（冗長化、負荷分散等）	システム冗長化を基本としており、サーバ障害などは自動復旧が行われます。
２８			DR（ディザスターリカバリー）対策の有無と、「有り」の場合はその概要	対応していません。
２９		SLA（サービスレベル・アグリーメント	本サービスに係る SLA が契約書に添付されるか否か	弊社では SLA ではなく、SLO を設定しております。 https://result.admindx.jp/doc/slo.pdf

３.アプリケーション等

情報開示項目			内容	事業者回答
３０	連携	他システム等との連携状況に関する情報提供	他システム等との連携の有無と、「有り」の場合は情報提供の条件等	無し
３１	セキュリティ	死活監視	死活監視の有無と、「有り」の場合は死活監視の対象	有り 運用監視は自動死活監視システムを用いて２４時間３６５日、監視対象により、分間隔もしくは秒間隔で実施
３２		時刻同期	時刻同期への対応の有無と、「有り」の場合は時刻同期方法	有り NTP を利用して、オペレーティングシステム、ネットワーク機器等、正確な時刻源と時刻同期を実施
３３		ウイルス対策	ウイルス対策の有無	有り 弊社サービス運用管理者が利用する運用端末についてはウイルス対策ソフトを導入しております。ウイルス対策ソフトの更新頻度やスキャンの頻度については非公開です。サーバにおいてはウイルス対策ソフトの導入はしておりません。 ユーザー操作によりインターネット経由で流入してくるデータは、厳格なアクセス制御を実施することで対応を実施しております。なお、アップロードされたファイルはプログラムとして実行不可能な領域に保存しております。上記の理由からサーバ側でのウイルス対策は不要との認識です。

３４	セキュリティ	管理者権限の運用管理	システム運用部門の管理者権限の登録・登録削除の手順の有無	手続きについては社内規定により定められており、承認されています。依頼から承認までの手続きをシステムにより記録、保管しています。 それぞれ一意の ID、十分な複雑度を持ったランダムパスワードを設定し、パスワードは各担当者が記憶して外部への保存を一切禁じています。 ランダムパスワードは運用部署配属され部内教育研修を受けた後に、主任、係長、課長、部長の承認を経て発行されます。 NIST SP800-63B（電子的認証に関するガイドライン）や総務省のガイドライン（https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/basic/privacy/01-2.html）にもあるよう、定期的なパスワード変更をしない運用としています。 運用管理に従事していた社員が退職または異動時は速やかにアカウントを失効しております。
３５		ID・パスワードの運用管理	事業者側にて、利用者の ID・PW を付与する場合における ID やパスワードの運用管理方法の規程の状況	利用者のユーザー管理は、利用者の管理者に行っていただきます。弊社にて、管理、アクセスは行いません

３６	セキュリティ	記録（ログ等）	利用者の利用状況の記録（ログ等）取得の状況と、その保存期間及び利用者への提供可否	利用者の利用状況の記録ログを取得して３６５間保管しております。利用者へは提供しておりません。
３７			システム運用に関するログの取得の有無と、「有り」の場合は保存期間	有り 期限：３６５日間 利用者へは提供しておりません
３８			ログの改ざん防止措置の有無	有り サービス上のログ機能/監査ログについて改ざんできないよう保護
３９		セキュリティパッチ管理	パッチ管理の状況とパッチ更新間隔等、パッチ適用方針	アップデート情報については日次で確認。脆弱性については共通脆弱性評価システム CVSS v3（https://www.ipa.go.jp/security/vuln/CVSSv3.html）に沿って深刻度を測定しており、その結果を参考にアップデートの適応タイミングを決定。 ＜重大なセキュリティパッチ＞ 深刻度の高い脆弱性へのセキュリティパッチは、パッチ適用のフローに則り速やかに運用環境へ適用 ＜その他のパッチ＞ 随時メンテナンスにて適用
４０		暗号化対策	暗号化措置（データベース）への対応の有無と、「有り」の場合はその概要	無し

４.ネットワーク

情報開示項目			内容	事業者回答
４１	回線	推奨回線	専用線（VPN を含む）、インターネット等の回線の種類	無し
４２			ユーザー接続回線について、ASP・SaaS 事業者が負う責任範囲	弊社基盤内ネットワーク、およびインターネットへの接続口まで
４３		推奨帯域	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS 等	無し
４４		推奨端末	利用するブラウザの種類	動作環境の詳細は以下の Web ページにて掲載 https://ww-system.com/data/terms/pdf/requirements.pdf
４５			利用するブラウザの種類	同上
４６	セキュリティ	ファイアウォール	ファイアウォール置等の不正アクセスを防止する措置の有無	有り ファイアウォールを設置
４７		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知等の有無と、「有り」の場合は対応方法	無し
４８		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザーとの間のネットワーク（専用線等）において障害が発生した際の通報時間	弊社が障害を検知してから、速やかに報告します。 障害の内容により対応が異なるため、時間を定めておりません。
４９		ユーザー認証	ユーザー（利用者）のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	IP アドレス制限、Basic 認証を用いた設定が可能です。
５０		なりすまし対策（事業者サイド）	第三者によるなりすましサイトに関する対策の実施の有無と、「有り」の場合は認証の方法	有り 電子証明書（SSL サーバ証明書）の発行元から事業者を確認していただけます。

５１	セキュリティ	暗号化対策	暗号化措置（ネットワーク）への対応の有無と、「有り」の場合はその概要	有り 伝送データについては全てSSL通信(TLS1.2)で暗号化しています

５．サービスサポート

情報開示項目			内容	事業者回答
５２	サービス窓口（苦情受付・問合せ）	連絡先	電話／FAX、Web、電子メール等の連絡先	お問い合わせについては以下の窓口を用意しています 詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。 https://ww-system.com/
５３		営業日・時間	営業曜日、営業時間（受付時間）	受付時間：１０：００～１２：００　１３：００～１７：００ （祝日・年末年始は除く）
５４		サポート範囲・手段	サポート範囲	お申し込みいただいた契約プランに応じて提供サポートの範囲が決定されます。
５５			サポート手段（電話、電子メールの返信等）	電話、メール
５６	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	利用者への告知時期（1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、12ヵ月前等の単位で記述）	通常、メンテナンス実施日の７日前までに告知 ※緊急でメンテナンスを行う場合はその限りではありません
５７			告知方法	メールにてお客様に通知が行われます。また、必要に応じてWebサイト、サービス内でも行います。
５８		障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無と、「有り」の場合は通知方法及び利用者への通知時間	有り メールにてお客様への通知は可能な限り迅速に行います。また、必要に応じてWebサイト、サービス内でも行います。
５９		定期報告	利用者への定期報告の有無（アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等）	無し

６．ハウジング（サーバ設置場所）

情報開示項目			内容	事業者回答
６０	サーバ設置場所	所在地	国名、日本の場合は地域ブロック名（例：関東、東北）	西日本
６１		無停電電源	無停電電源装置（UPS）の有無と、「有り」の場合は電力供給時間	（有り） N+1 冗長化 最大負荷で 6 分
６２		給電ルート	異なる変電所を経由した給電ルート（系統）で２ルート以上が確保されているか否か （自家発電機、UPS を除く）	異なる変電所より異経路にて 2 系統引き込みで商用電源を受電
６３		非常用電源	非常用電源（自家発電機）の有無と、「有り」の場合は連続稼働時間の数値	（有り） 144 時間分（最大負荷時）
６４		サーバールーム内消化設備	自動消火設備の有無と、「有り」の場合はガス系消火設備か否か	（有り） イナージェンガスシステム(窒素系ガス)
６５		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	（有り） 煙感知器，火災報知器
６６		直撃雷対策	直撃雷対策の有無	（有り） 避雷針設置
６７		誘導雷対策	誘導雷対策の有無	（有り） 雷誘導コイル設置
６８		空調設備	空調設備（床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等）の内容	冷却方式は、外気を大型ファンで取り込み、地下水が通るコイルを通過することで空気を冷やしサーバ室に流し込みます。サーバを通った熱い空気は天井から排出による空調方式 空調機器の冗長性（N+1）
６９	セキュリティ	入退室管理等	入退室記録の有無と、「有り」の場合はその保存期間	（有り） 建物への入退出時：人および IC カード・生体認証による認証 入退出記録保持期間：2 年

７０	セキュリティ	入退室管理等	監視カメラの有無	（有り） 監視カメラをサーバに関わる全箇所に設置 ※画像の保存なし
７１			個人認証システムの有無	（有り） 事前の入館申請、受付での本人確認、IC カード・生体認証による入退室管理
７２		媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	無し
７３			保管管理手順書の有無	同上

公開日時：
２０２２年４月１日 １２:００

更新日時：
２０２５年５月１５日 １２:００